

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	現状意識しながら対応を心掛けているがスピーチロックについての認識をさらに高める。	行動の抑制になる言葉や、声掛けになっていないか意識して発言する。	「ダメ、まって」等なぜダメなのか、なぜ待つのか説明や時間を伝えるなど本人に分かってもらえるいい方にする。言い換え方について話し合う。	1ヶ月
2	18	介護者の一方的な支援になっていないか認識し、利用者の強み、力を発揮できるようにする。	残存機能を生かし出来る事はしていただき見守り支援をする。	「出来る事、良い面」を強みにして出来ないことではなく「少しの支援でできる」ように目線、見方を変える。	1ヶ月
3	3	地域の多くの方に認知症、グループホームの理解をしていただく。	職員一人一人が認知症に対する理解を深め、地域の集まり等で認知症の勉強会や知ってもらう機会を多く持つ。	認知症カフェ、地域の集まり等に参加した時に少しの時間でもいいので話をする機会を設ける。きっかけづくりを行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。